



学校だより

10月号



みのたなくん

～豊かで調和のとれた子の育成～

[た]くましく生きる人 [な]かよく生きる人

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tana/>

地域に支えられた交通安全の取組

校長 酒井 浩明

朝晩の風に秋の足音を感じ、稲が頭をたれ刈取りが始まる頃となりました。

夏休み明けの8・9月は、暑さ指数の高い日も多く、熱中症防止のために、校庭や体育館での体育や休み時間に校庭で遊ぶことができない日が続きました。

このような中でも、田奈の子どもたちは、室内で上手に過ごすことができていました。

一斉臨時休業で、遅れていた授業も順調に進み、間もなく前期の終業式を迎えます。

まだまだ、コロナ禍は続きますが、「あいていますか？」（空間、手洗い、マスク）を大切に、新しい学校での生活様式を身に付けていけたらと思っています。

さて、コロナ禍の中ではありますが、変えずに継続している取組もあります。

その一つが、子どもたちへの交通安全等の指導です。

具体的には、PTA地区校外委員さんの活動や登校班指導、保護者の通学路・交差点での旗当番、パトロールです。6月中旬の通常授業再開とともに行われています。

加えて、今年度のスクールゾーン運営協議会は、地区校外委員さんが通学路調査をして、協議会として集まらずに、7月下旬に要望書を取りまとめて、警察や区役所等の関係機関へ紙面で申し入れをしています。

傘差し登下校も、地区校外委員さんと各登校班の世話人の方の声掛けがあつての実践です。

学校では、今年度の1・4年生の校庭で実践的に行う交通安全教室は、中止としましたが、7月に全校で映像を用いた交通安全の指導と登校班指導を行いました。

また、全体では、8月の夏季休業明けに登校班班長会議を行い、登校の見守り・下校の安全確認を行いました。そして、傘差し登下校につ

いては、必要に応じて適宜、各学級での下校時の注意事項の指導を行うようにしています。

地域の青葉交通安全協会田奈支部長の鎌田安一さんには、地域交通安全活動推進委員として、田奈・恩田地区を中心に、交通安全旗の交換や地域巡回による見守り活動などを継続的に行っていただいています。



＜保健室前のランタナ＞

9月21日（月）～30日（水）の10日間で行われている「秋の全国交通安全運動」においても、登校時の西門前の道路横断の旗振りに、連合会長久保田実さんとともにご協力いただきました。

最終日の9月30日は、「交通事故死ゼロを目指す日」となっています。

「自転車も車の仲間」です。歩行者優先のルールや左側通行の他、様々なルールがあります。

また、神奈川県では、4月から自転車の保険義務化が始まっています。

例年、9月以降には、夜間や薄暮時の事故が多発するようです。自転車の交通ルールの資料を学校ホームページに掲載しますので、家庭でお子さんと再確認していただければ幸いです。

【お知らせ】

昨年度ははじめから葉が出て来なかった銀杏の大木ですが、今年の夏休み前には、枯死して根元からきのこが出てくる状態でした。安全のため台風シーズン前に伐採しました。

【お礼】

学校便り9月号を見た徳恩寺鹿野融完さんから、手指消毒用のアルコールをいただきました。1本はキッズクラブさんに渡しました。学校では、遠足等の校外学習時に持ち歩き、利用させていただく予定です。ありがとうございました。